

事務事業チェックシート

事務事業No 705 事業名 高等学校施設充実事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	2	高等教育機関の充実と連携強化

事業種別	継続	
事業期間	～ 永年	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	市立和歌山高等学校	勝本 泰弘(461-3690)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		高等学校費	
	目		高) 学校管理費	
	大 事業		高等学区管理費	
	事項		高等学校施設充実事業	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)		事業内容							
	教材教具の整備充実を図る		図書及び校用器具の充実							
実施内容	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	理科実験器具及び図書の充実を図る。		理科実験器具及び図書の充実を図る。		理科実験器具及び図書の充実を図る。		理科実験器具及び図書の充実を図る。			

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	522	497	514	512	514	505	414			
伸び率 (%)	-	-	▲1.5%	3.0%	0.0%	▲1.4%	▲19.5%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	4,400	4,440	4,400	4,371	4,377	4,488	4,698		
	正規職員以外	201	188	201	188	188	209	2,348		
	小計	4,601	4,743	4,601	4,559	4,565	4,697	7,046		
国庫支出金	123	123	123	123	123	123	123			
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	399	374	391	389	391	382	291			
所要人数 (人)	正規職員	0.59	0.60	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59		
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.1	0.48		
主な予算内訳	図書購入費268千円、理科実験器具購入246千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動指標	備品購入数	品	10	4	10	6	10	3
			達成度 (%)	40.0%	60.0%	30.0%		
			目標値					
成果指標	予算執行率	%	100	95	100	99	100	99
			達成度 (%)	95.0%	99.0%	99.0%		
			目標値					
			実績値					
			達成度 (%)					
			目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生徒にとって必要な教材教具の整備充実を図る。
見直し・改善内容	生徒の必要な事項、教師の重点的取組みを把握して、充実を図っていきたい。